

●「赤心」継がん

Dream

五代塾

GodaiJuku

Sinbun (新聞)

第6号

発行: Dream 五代塾

吹田市千里山西 5-14-17

発行責任者: 理事長 川口 建

五代の無実余すところなく論証

「五代シンポジウム」 大阪市大で開催

一月二十二日午後、大阪市立大学同窓会・大阪市立大学共催「五代友厚シンポジウム」開拓使官有物払い下げ事件を問う「が同大学田中記念館ホールで約一〇〇人の参加と七四人のNPO参加のもとに開催された。

冒頭に児玉隆夫同窓会五代友厚記念事業委員会委員長より、二〇一六年の五代友厚銅像建立に始まって、『新・五代友厚伝』の刊行、五代名誉回復運動の取り組み開始、本日のシンポジウム開催と進んできたのはまことに意義深いとの挨拶があった。

続いて、シンポジウムに先立って、ZEX朝ドラ「朝が来た」と大河ドラマ「青天を衝け」で五代役を演じたディーン・フジオカ氏から、シンポジウムへの連帯のビデオ・メッセージが寄せられ、会場の大スクリーンに映し出された。



児玉隆夫
同窓会五代友厚記念事業委員会委員長の挨拶

五代無実の新証拠発見 発表

シンポジウムは同窓会五代委員会委員八木孝昌のコーディネートで始まり、最初に住友史料館末岡照啓研究顧問による基調報告が「五代友厚と北海道開拓使事件の再検討」の演題のもと

に行われた。

報告中

の白眉は、

土佐藩士

で明治期

の政治家

であった

佐佐木高

行の日記



ディーン・フジオカ氏
ビデオ・メッセージスクリーン

『保古飛呂比(ほこひろい)』中の記述の紹介で、末岡顧問は同日記に「開拓長官黒田が官有物払い下げを五代に打診したところ、五代はそれを断った」と書かれている事実を発表した。それは開拓使事件における五代の無実を証明する最終的にして決定的な証拠である。末岡顧問の当日レジュメには次のように書かれている。

官有物払下げの受け皿と考えられたのは関西貿易社ではなく、開拓使官吏たちが設立した北海社であった。佐佐木高行日記『保古飛呂比』によると、当初、黒田と大隈は五代に関西貿易社が受け皿になるよう勧誘したが、五代は採算面からこれを拒否した。黒田はやむなく開拓使官吏に受け皿会社を設立させ、聴許を得たのである。五代友厚文書のなかに、北海社と関西貿易社の合併メモが存在するのはこのためであり、開拓使官吏の作成によるものである。



末岡照啓氏
住友史料館研究顧問

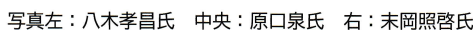
末岡顧問の研究成果は本年五月にミネルヴァ書房から刊行予定の『五代友厚と北海道開拓使事件——明治十四年の大隈追放と五代攻撃の謎に迫る』において発表されることになっているが、「五代拒絶」という証拠の発見が公表されるのは、このシンポジウムが最初であった。

五代悪徳商人説批判

パネリスト八木孝昌は「二段構えの五代悪徳商人説批判」と題する報告を行った。報告では、一段目は高校日本史教科書や岩波書店『日本史年表』・平凡社『日本史事典』に見られるもので、「東京横浜毎日新聞」の「五代の関西貿易社への官有物一括払い下げ」という誤報を真実であると誤解した単純誤謬である。この誤謬は、明治政府の決定した払い下げ先は、開拓使幹部が退職して結成する北海社であるとする国立公文書館所蔵の一連の史料によって容易に論破される。上記文獻が記述を変更しないのは、国立公文書館所蔵史料を知らないのか、知っていても居直っているのか、どちらかである。

二段目は吉川弘文館『国史大辞典』・小学館『日本歴史大辞典』などがとる見解で、払い下げが北海社に対して行われたことは認めておいて、しかしその背後には五代友厚の存在があったとして、実質は五代に払い下げられたのと同じだとする五代黒幕説である。

これは單純誤謬ではなく、中傷に屬する。健全な判断力があれば、この走り書きのような



メモは、北海社の先行きに不安を覚えた開拓使幹部が、北海社の経営が行き詰まったときには関西貿易社に助けてもらいたいと考えて書いた、「保険」をかけるつもりのもメモであることくらい容易に読み取ることができる。そしてこのことは、上記の「黒田の勧誘を五代が拒否」という佐佐木高行日記の記述によって、客観的な事実であることが判明した。私腹を肥やすために成り振る構わず画策するような人物として五代を想定するのは、劇画の話であって、研究者のすることではない。

このシンポジウムには五代友厚の地元である鹿児島から、志學館大学教授で鹿児島大学名誉教授の原口泉教授をパネリストとしてお招きした。原口教授は日本近世史・近代史を専門とし、戦国時代以降の薩摩藩史や奄美群島の琉球の歴史にも造詣の深い碩学である。

琉球の歴史にも造詣の深い碩学である。

原口教授は、「五代友厚と私」とする報告において、五代への濡れ衣がこの間の研究におけるエビデンス(具体的証拠)の蓄積によって晴らされようとしている成果を評価した上で五代の人間像に言及し、「公益に殉じた傑士」であったという五代にふさわしい評価を呈して、会場の感銘を呼んだ。

続いて、ZOOM 参加の松田忠大鹿児島大学法文学部部長から「鹿児島島の近現代」の教育研究拠点整備の計画が報告され、また鹿児島県いちき串木野市にある「薩摩藩英国留学生記念館」の長崎崇館長からは同記念館で二月から開催される五代友厚展「赤き心」の企画の紹介があった。

また、五代ゆかりの天王寺商業高校の山田庸男会長からは五代の認知度を高め、五代の名譽を回復するための活動について報告があり、学生団体「五代友厚研究会」を代表して法学部二回生片山翔太さんから署名活動等の報告があった。

さらにZOOM参加の田頭吉一（鹿児島大学副学長）から、大阪市内での活動に連携する旨の発言があった。田頭副学長は文部科学省からの出向として昨年三月まで大阪市立大学理事の職責にあり、五代の名譽回復活動にも協力をいただいた経過がある。

歴史学界への働きかけ



シンポジウムの最後に、昨年十一月三日に

れども、「ラスト」には「最後」という意味と「続く」という意味があるので、五代名書回復の活動も継続し、近い将来の目的実現を期する旨の発言があつて、三時間四〇分にわたるシンポジウムは終了した。

かけに對する励ましの声などが寄せられた。

大阪市立大学同窓会
五代委員会委員
Dream 五代塾顧問
八木 孝昌

名



名



締め括りとして、商学部三回生の橋本美沙紀さんと商学部一回生の中居拓海さんによる参加者一同名義の「五代友厚シンポジウム」声明が読みあげられ、会場の拍手によつて採択された。

最後に荒川哲男学長から閉会の挨拶があり
大阪市立大学はあと二か月ばかりで終わるけ

場所は鹿児島県いちき串木野市羽島。
五代友厚ら欧州使節団と留学生、総勢 19 名
が英国に向けて出港した場所です。
もちろん幕府に隠れての「密航」です。
1865 年 3 月 22 日（陽暦 4 月 17 日）



鹿児島県いちき串木野市羽島4930番地 TEL 0996-35-1865 <http://www.ssmuseum.jp>
 【開館時間】10:00～17:00【休館日】火曜日（天候等により臨時休館あり）【入館料】一般観覧者：大人200円、小・中学生100円、幼児50円
 【観覧料】大人（高校生以上）300円、小人（小学生以下）200円、小児観覧券（20歳以上）、障がい者観覧券を併用する場合は、併せて100円加算

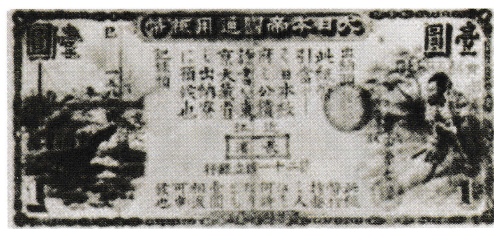


地方の産業・経済振興のため 明治維新时期に創業された 地方銀行

Dream 五代塾顧問 曾野 豪夫

渋沢栄一の生涯を描いた「エニエ 大河ドラマ「青天を衝く」は昨年末に好評裡に終わった。ディーン・フジオカ演じる五代友厚の事績の要点をうまく描いていたので、なぜ「東の渋沢栄一、西の五代友厚」なる言葉が戦前から人口に膾炙(かいしや)していたかを理解されたことと思う。ドラマ最後の方で第一国立銀行が創業された後に、全国で地方銀行を金儲けのために設立しようという人たちが多く出てきたとの表現に私は違和感を覚えた。

たまたま私の曾祖母の実家柴田家は元禄時代から京都の大手生糸・縮緬(ちりめん)問屋だった。その本家筋が近江長浜で蚕種紙、生糸、近江縮緬や近江麻の商いと製造販売業を行っており、明治十年に九代柴田源七が長浜の経済振興と通貨の安定のため第二十一国立銀行

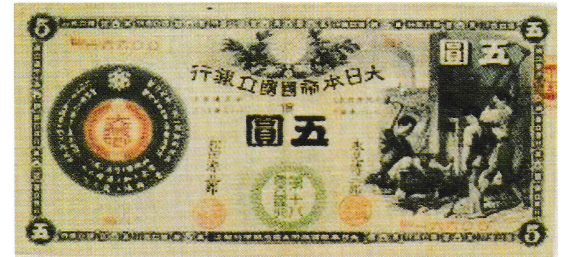


第二十一国立銀行紙幣
発行者名記載：右(頭取)柴田源七

を知名の商人仲間と共に創業して頭取に就任した。また母の大伯父永見傳三郎は同年長崎で親戚や明治三年以来の金融仲間と共に第十八国立銀行を創業して頭取に就任した。五代友厚との関係は本紙で時々触

れている。

地方の有力者たちがどのようないきかたで銀行の設立に至ったかについては叔父(元第一銀行京都、神戸両支店長、元住友銀行取締役梅田、京都両支店長、元十八銀行大阪支店勤務)から聞かされてきた。



第十八国立銀行紙幣
発行者名記載：中央右(頭取)永見傳三郎
中央左(支配人)松田源五郎

幕末から明治維新直後の日本は旧藩札、太政官札、明治の民部省札、新紙幣「明治通宝」など非兌換券の乱発で国内の金融・経済は混乱し、資本も貧弱であった。殖産興業を図るためには、幕末文久三年(一八六三)イギリスに密航した伊藤博文や、二年後の慶応元年薩摩藩英国留学生十四名を引率した五名の使節団の副使五代友厚などが帰国後日本でも共同出資による商社合力(株式会社)や銀行の先駆けとなる為替会社(バンク)の設立を促していた。慶応四年徳川昭武の幕府訪欧使節団の末席に加わって欧州に赴いた渋沢もその一人だった(合本)。

明治三年、政府は貨幣制度、金融機関調査のため伊藤をアメリカに出張せしめた。翌四年帰国した伊藤の建議により、政府はアメリカのナショナル・バンク制度に準じて国立銀行を創設することを決定した。この年廃藩置県。

五年政府は「国立銀行条例」を交付、通貨を旧来の四進法から国際的な十進法とし、呼称を両から圓(円)に変えた。また国内各地に「国

立銀行(名前は国立だが民営)が新紙幣の発行を担うこととなった。渋沢が創業に関わった第一国立銀行は明治六年創業、日本最初の株式会社である。しかし条例は各銀行が発行する紙幣の正貨(非金銀)との兌換を定めていたなど設立条件が難しかったため四行しか設立されなかった。資本金はそれぞれ一五〇、五〇、三五、三〇万円。(第三国立銀行は脱落)

九年条例が改正されて正貨兌換が不要になり、また同年完了した秩禄処分により士族に対して発行された金禄公債を資本金として活用できるようになったので第六国立銀行以下多くの国立銀行が全国的に設立された。合計一五三行。それらの銀行の資本金は、華族銀行と言われた巨額資本金の第十五国立銀行を例外として、一〇〇万円が一行、その他は五十万円以下、最少は五万円だった。

各地方の有力者たちは西南戦争の直後というまだ政治的に安定したと確信をもてない時期に私財を出し合って地方の殖産と経済の流通向上のために銀行の設立に協力したものである。士族の中には公債を提出したものの経営能力に乏しく脱落した人達もいた。

国立と言っても株式会社であり、有限責任である。新たに地方で銀行を起すにはそれなりの資本金が必要である。

「国立銀行成規」に基づき大蔵卿(大臣)は地方から銀行成立願書を受取つたら、所轄地方官庁(府県庁)に命じ、発起人ら一人一人の身分、営業の規模、その他詳細な調査を差し出させる。更に大蔵卿(当時大隈重信)から「設立願趣旨説明のため発起人一名上京せよ」との達しが、県令の添書をもつて発起人に届けられた。複雑な諸手続きを経て内認可がなされ、発起人会を開き、新聞に株主募集の広告を掲載する。設立発起人会を経て株主予定者により創立総会が開催され、本店事務所や営業所所在地、資本

金の額などを決定し、株式の募集を行う。取締役や頭取などの選任は投票による。発起人席と取締役席は別にしつらえてある。従い両者が同一人物の場合は発言する立場によつて席を移動する。維新後まだ十年しかたつていないのに西洋式議事進行の手順を踏んでいたことに驚かされる。

話しはそれるが私が六年生の時に日本は敗戦。サンフランシスコ講和条約が調印される前年の昭和二十五年六月、私は灘高校二年生の時に第三回全日本高校学生ユネスコ連盟全国大会を校長先生の許可を得て母校で会長として主宰した。生徒会予算から二、〇〇〇円の枠を貰った。

全国から一〇校余りの公私立高校から代表が集まった。初めての学外活動であり会議の進め方も分からない。神戸市役所社会文化教育課の岡本課長からアメリカのエマーソン著「会議の仕方」を読むように教わり、にわか勉強をした。大会で私は灘高ユネスコ研究会会長席と大会議長席を行ききた。

ある日、岡本課長と話していると洋装の颯爽とした婦人が通りかかり多くの職員が起立して会釈をしている。婦人は私を見て「曾野さん



上：全国高校ユネスコ大会。
上：前が筆者。
左：宿舎はお寺(宿泊料無料)



でしょ」と。「マコ」の叔母の「はつ、暫くでした。小学校の親友マコ岩松の叔母さんだった。部長さんだった。後年、マコの両親と共に戦前から左翼系の絵描きさんだと知った。マコと叔母さん一家は空襲で御影の家が焼かれたので交流が途絶えていた。マコは戦後、映画「砲艦サンパブロ」(米「1966」)で著名なハリウッドスターとなった。その話しは何れまた。

さて、銀行の創業に関わる重要書類への取締役の署名、捺印に際しては知事や同僚取締役などの面前で行う。払込みされた資本金の二割を大蔵省(又はコルレス先の第一国立銀行)に担保として提供し、その地方銀行名義の紙幣を印刷してもらうと開業ができた。

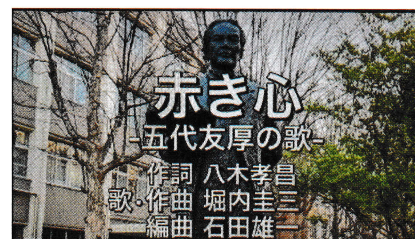
この頃、全国で多くの士族に不穏な動きがあり、明治政府を悩ませていた。特に九州だけでも明治七年佐賀の乱、九年の神風連の乱、秋月の乱、萩の乱から十年西南の役と続く。そのような時期なので全国の地方の名望家、資産家が新規事業を起すのに臆病にならざるを得ない。日本の郵便電信施設も鉄道事業もまだ幼稚で薩長土肥を中心とする中央政府の施策もすぐに津々浦々に行き渡りにくかった時代に、日本国家の命運を担う「殖産興業、富国強兵」に協賛した先人の思いを令和時代の政治家、中央・地方官僚、財界人、教育関係者、マスコミその他各界の人々は胸に抱いて日本の一五〇年先を見据えて活躍して頂きたい。今年はまだ明治一五五年である。

明治十一年(一八七八)、東京商法会議所と大阪商法会議所が、渋沢栄一と五代友厚を東西それぞれの会頭として発足した。
宜(むべ)なる哉(かな)。「もったもなし」ことだな

参考書籍

・『丸太柴田商店小史』
・『十八銀行』百年の歩み『ほか

Topics



赤き心 —五代友厚の歌—

作詞 八木孝昌
作曲 堀内圭三
編曲 石田雄一

『赤き心』 五代友厚の歌

時くれば 赤き心もあらわれて
惜しまれて散る 紅葉なるらん

時は暮末英国へ留学したる五代らは
薩摩の国とベルギーの 商社条約締結す
たとえ企て成らずとも 道拓くなら それでよし

攘夷の事件勃発し 外国掛(がかり)参与とて
堺港におもむきて 国難救う大奮闘
たとえ犠牲を払うとも 国守るなら それでよし

天和(てんな)鉾山皮切りに 求めし山は二十一
近代産業支えんと 鉾山王の道を往く
たとえ私財を失くすとも 国富ますなら それでよし

官有物の払い下げ 政商五代引き受けと
誤報を流す新聞に 五代はしかし黙したり
たとえ汚名をかぶることも 国割れぬなら それでよし

街に活気を戻さんと 大阪商法会議所の
会頭務め丸五年 激務の果てに力尽く
たとえこの身は亡ぶとも 民栄えるなら それでよし

時くれば 赤き心もあらわれて
惜しまれて散る 紅葉なるらん

前田正名の捧げたる 追悼の歌そのまに
赤き心を貫きし 五代友厚 大阪の
恩人の名はいつまでも 我らの胸に残るべし

待望の五代友厚の歌
公益のために一生を捧げた五代友厚の
心情が、堀内さんの歌声とともに伝わ
てきます。一度聴いてください。

YouTube で配信

作詞 八木孝昌
作曲 堀内圭三

お知らせ②

妙国寺で第五回目の法要。ご子孫・関係者を招き、講演会も計画されています。今年は神戸事件の瀧善三郎のご子孫・瀧正敏氏の講演も予定。



日時：2022年2月23日 13:00~15:30 場所：妙国寺
プログラム：法要、ご挨拶、講演会、上映会、墓参
定員：100名、会費1,000円
主催：堺事件を語り継ぐ会 代表井深明
後援：堺市、同教育委員会、高知県大阪事務所、在日フランス大使館、ボランティア協会、他多数
事務局：090-3844-7139 (担当・呉竹、戒田)
開催日までの余裕がありませんが、ご興味のある方は事務局へお問い合わせください。

お知らせ③

年賀状を頂きました



旧年は映画「天外者」で五代友厚豊子夫妻の生涯が俯瞰され、また NHK 大河ドラマ「青天に衝け」では友厚の活躍の要所々々が凝縮してドラマ化され両面相俟って埋もれかけていた五代の事績が世に知られることになった嬉しい一年でした。
今年は五代友厚の正しい評価が更に世に広められますことを祈念しております。

永見英厚

五代友厚豊子夫妻の縁者 水戸市在

編集後記

昨年は、映画「天外者」(主演：三浦春馬、五代役)や NHK 大河ドラマ「青天に衝け」(ディーン・フジオカ、五代役)で五代友厚が世の中に登場しました。両者共に五代の等身大の姿が表現されており、五代を勉強している私達にとっては心地よく観させて頂いた。即ち「赤心」「先覚性」「正義感・実行力」「公益性」「未来志向」と五代キーワードがにじみ出ていたことです。今、大阪市大同窓会と大阪市大が「官有物払い下げ事件」の五代の濡れ衣を晴らそうと活動されています。濡れ衣は新聞誤報が明白で、今その歴史が変わろうとしています。当時五代は国の混乱を憂慮し弁明せずこの世を去っていきました。大恩人への恩返しは今しかないという行動に移した大阪市大同窓会と大阪市大、そして学生たちが「開学の祖五代友厚」の DNA を継いでくれた。この様な五代友厚の精神・志を引き継ぎ、次世代を担う若者たちに伝えることが私達の使命と再認識し、Dream 五代塾 2 年目の活動を邁進してまいります。今年度もより多くの方々に Dream 五代塾の考えにご理解とご賛同をいただき、一緒に勉強し活動できる会員の方を集っています。是非、継続会員、又新規会員への加入よろしく願いいたします。【年会費 2,000 円】(詳細は下記ホームページ)

Dream 五代塾ホームページ <https://www.dream-godai.com>
連絡先：川口 建 携帯：080-4497-5688 Email: gogoken12345@gmail.com

「赤心」繋がれ
Dream 五代塾
GodaiJuku